

# 墨田区保健所からのお知らせ

(保健所 だより)

がん  
検診編

R4.8.1

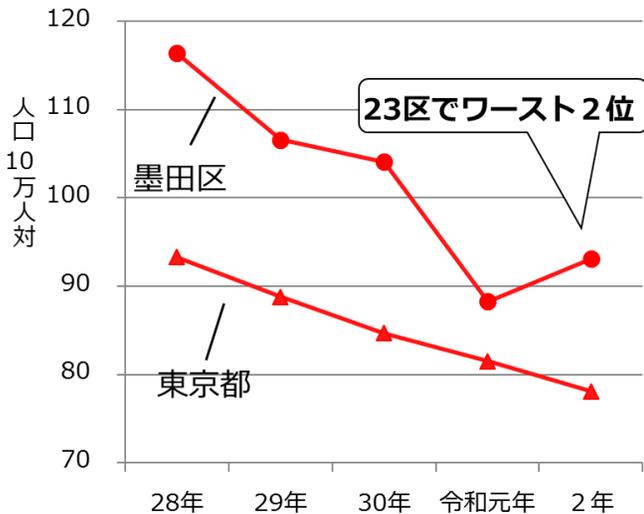
発行：墨田区保健所

## 2人に1人ががんになる時代です

日本では、2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。では、墨田区民はどれくらいがんで亡くなっているかご存じですか？下のグラフのとおり、**男性区民のがんによる死亡率はここ数年低くなっていますが、23区内で比べると極めて高くなっています。**また、**女性区民においても、ここ数年高くなっています。**

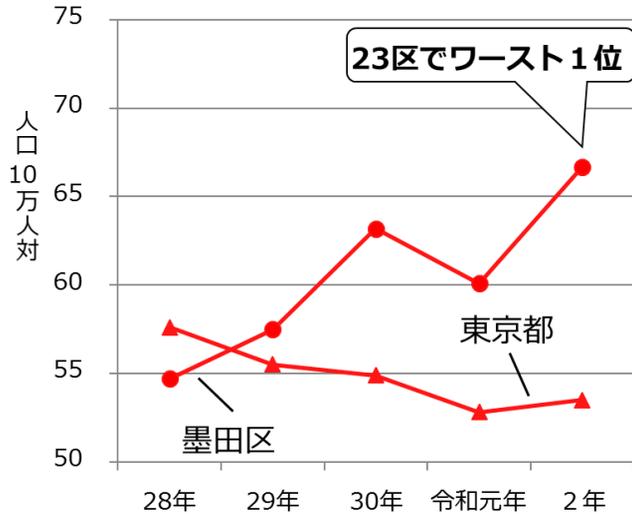
### 男性・がん死亡率

(75歳未満年齢調整死亡率・全てのがん)



### 女性・がん死亡率

(75歳未満年齢調整死亡率・全てのがん)



男性は

**肺がん・大腸がん・胃がん**の  
死亡率が高い

日本人が一生のうちのがんになる確率

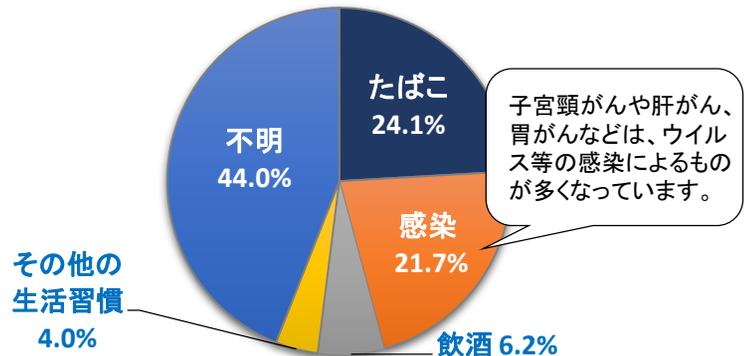


2人に1人ががんにかかっています

女性は

**肺がん・乳がん・子宮頸がん**の  
死亡率が高い

日本人のがん死亡の原因



出典：国立研究開発法人 国立がん研究センター 社会と健康研究センター

がんの死亡率を下げるために必要なことは、まず、「**がんを遠ざける生活習慣を心掛けること**」  
そして、「**がん検診を受けて、早期発見・早期治療につなげること**」です。

## ■ がん予防のポイント

- ① たばこは吸わない。他人のたばこの煙を避ける
- ② 飲酒は適度に
- ③ 食事は偏らず、バランスよく
- ④ 日常生活を活動的に
- ⑤ 太りすぎない、やせすぎない
- ⑥ がん検診を受ける
- ⑦ 肝炎ウイルス検診と適切な措置を

がんを遠ざけるためにまずは、生活習慣を見直してみましょう！



## 早期発見・早期治療が重要です！

がん発生の原因として、たばこや飲酒、感染（ウイルスや菌）ががんの発症リスクを上げることはわかっていますが、「不明」な部分も多いのが現状です。

2人に1人ががんになる時代、健康な生活を送っていても、がんを避けられないこともあります。

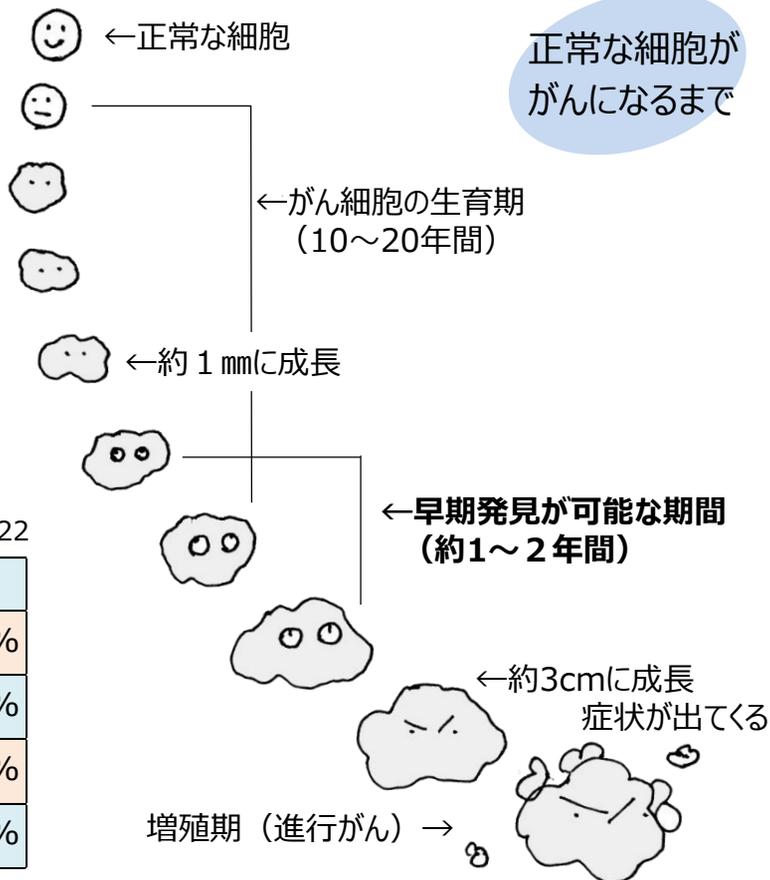
そこで重要なのが「**早期発見・早期治療**」です。

がん発見時の病期が早いと、5年生存率は9割にもなります

がん発見時の病期ごとの5年生存率

出典：がんの統計 2022

	I期	II期	III期	IV期
全てのがん	94.0%	80.3%	57.5%	23.0%
大腸がん	98.8%	90.9%	85.8%	23.3%
肺がん	85.6%	52.7%	27.2%	7.3%
乳がん	100.0%	95.9%	80.4%	38.8%



## がん検診の受診率（令和2年度）

検診の種類	墨田区の受診率	東京都平均	23区順位
胃がん検診	7.6%	11.3%	18位
大腸がん検診	22.0%	21.6%	11位
肺がん検診	7.6%	11.7%	16位
子宮頸がん検診	18.7%	20.3%	17位
乳がん検診	22.5%	20.8%	15位

※胃がん検診の受診率は、自治体間を比較するために都が独自に算出した数値を記載

新型コロナウイルス感染症の不安から受診を見送り、次の受診までの期間が空いてしまうと、**進行して症状が出てからがんが発見される可能性が高くなります。**

がんを早期に見つけられる期間は限られているので、コロナ禍であっても**定期的ながん検診**が大切です。



がん検診については、右のページをご覧ください。➡

## 区のがん検診を受けましょう！

区では、区民の方を対象にがん検診を実施しています。がん検診は、通常4,000円～1万円以上かかりますが、区のがん検診は **無料または低額の負担** で受けられます。下の内容をよくお読みのうえ、お申し込みください。

### 【申込み・問合せ】

**すみだけんしんダイヤル** TEL 03-5608-1599

月曜日～金曜日 午前9時～午後6時 ※祝日・年末年始を除く

**がん検診を受診するには  
まず、区へお申し込みが必要です！**

各がん検診の受診期間の終了間際は、大変混み合い、予約が取れない場合もありますので、早めに申込み・受診しましょう。

## 墨田区のがん検診一覧

◆年齢は、令和5年3月31日現在です。

◆胃がん検診（胃部エックス線検査）と胃がん検診（胃内視鏡検査）、子宮頸がん検診・乳がん検診と子宮頸がん・乳がんセット検診は同時に受けられません。

### ■胃がん検診（胃部エックス線検査）（無料） \*11/1～申込みスタート

【対象】 40歳以上の区民の方

【受診方法】 「医療機関実施分」または「検診車実施分」



### ■胃がん検診（胃内視鏡検査）（1,500円） \*11/1～申込みスタート

【対象】 50歳以上の区民の方

【検診会場】 区内実施医療機関



### ■大腸がん検診（有料：400円） ※生活保護受給者等は無料

【検査方法】 便潜血検査（検便）

【対象】 40歳以上の区民の方

【検診会場】 区内実施医療機関



### ■肺がん検診（無料）

【検査方法】 胸部エックス線検査等

【対象】 40歳以上の区民の方

【検診会場】 区内実施医療機関



### ■子宮頸がん検診（無料）

【検査方法】 視診・子宮頸部の細胞診

【対象】 20歳以上の女性の区民の方

【検診会場】 区内実施医療機関



### ■乳がん検診（無料）

【検査方法】 マンモグラフィ検査・視触診

【対象】 40歳以上の女性の区民の方

【検診会場】 区内実施医療機関等



### ■子宮頸がん・乳がんセット検診（無料）

【検査方法】 視触診・マンモグラフィ検査／視診・子宮頸部の細胞診

【対象】 40歳以上の女性の区民の方

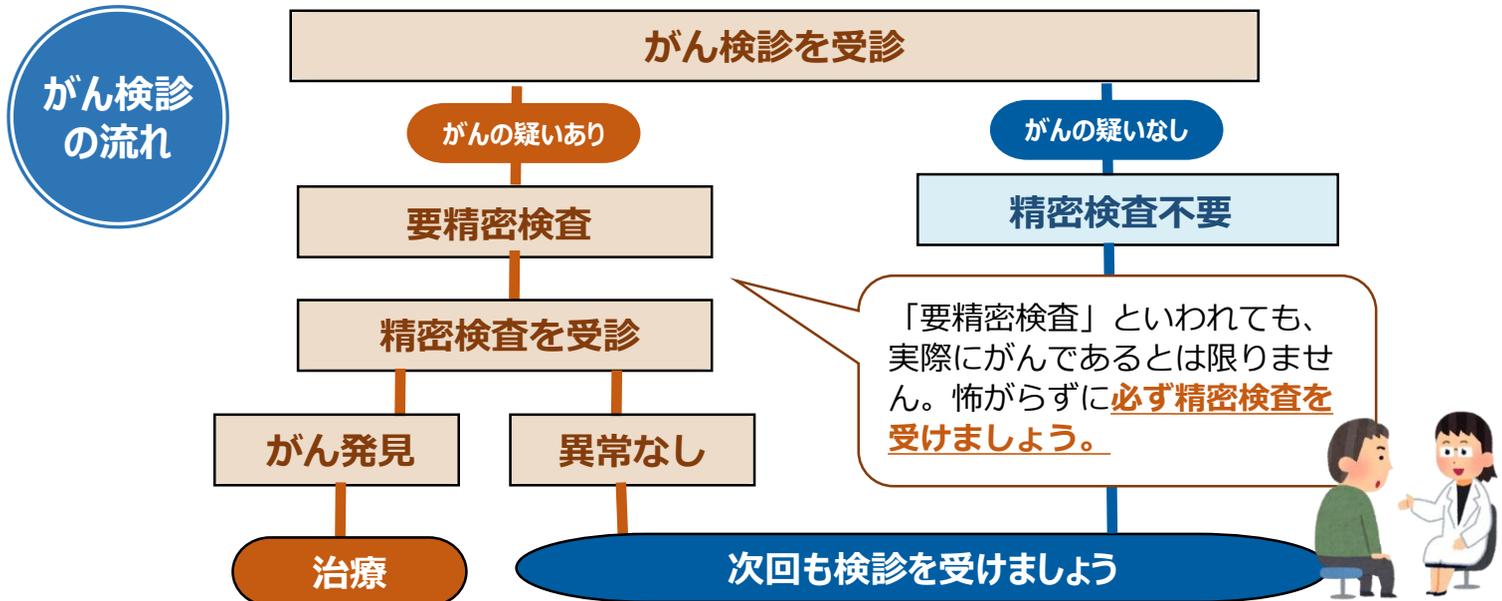
【検診会場】 東京都予防医学協会（新宿区市谷砂土原町）

# 早期にがんを見つけるために **がん検診を継続して受けましょう！**

がん検診は定期的に受けてこそ、十分な効果が得られます。胃がん、子宮頸がん、乳がん検診は2年に1回、肺がん、大腸がん検診は毎年の受診が推奨されています。

がん検診を実施している医療機関では、**新型コロナウイルス感染症対策を徹底しています**ので、安心して受診しましょう。

※墨田区では、胃がん検診（胃部エックス線検査）は1年に1回受診可能です。



## 「要精密検査」といわれたら…

がん検診は、がんの疑いがあるか異常がないかを判定する検査です。がんの疑いがあると判定された場合は、医療機関での精密検査を指示されます。

**精密検査は、がんかどうかをより詳しく調べるもので、がんを早期発見し、早期に治療するためにとっても重要な検査ですので、必ず受診してください。**早期発見、早期治療により、がんとわかっていても治すことができます。

## がん検診にはメリットだけでなく、**デメリット**もあります

がん検診は、受診間隔や対象年齢を守って定期的に受診すれば、死亡の可能性が減少するという**メリット（利益）**がある一方で、以下のような**デメリット（不利益）**もあります。

がん検診を受けるときは、メリット、デメリットを知ったうえで受診することをお勧めします。

### がん検診のデメリット

#### ①がん検診では、がんが100%見つかるわけではありません。

どんな検査でも「絶対」はあり得ません。やむを得ずにごがんを見逃してしまうことがあります。（偽陰性）

#### ②結果的に不要な治療や検査を招くことがあります。

がんでないのに「がんの疑いあり」と判定されてしまったり（偽陽性）、健康や生命に影響がない微小ながんを見つけてしまう（過剰診断）ことにより、余分な精密検査を受けることなどによる身体的・心理的な負担がかかってしまうことがあります。

#### ③偶発症のリスクがあります。

内視鏡検査などにおいて、胃や腸に穴が開く等の事故（偶発症）がごくまれに発生します。